

解答

解説

一

問一 お洒落は身だしなみの一部

問二 男子みたいな恰好

(2) (1) 二人の弟たちにお下がりをあげるため

お洒落について瑠璃羽ちゃんが言っていることは正しいと思うが、自分にはできそうにないから負けおし

みでめんどくさいと言ったり、クラスの雰囲気も悪くしてしまったりしたところ。

問四 自分の言葉は失礼でその場にふさわしくなく、センスのないものだったので、しいちゃんをなぐさめるることはできなかつたと感じたから。

問五 洋服をたくさん持つている女の子が強い

イ 1 ウ 2 ア

同じお洒落をしている人とは仲間で、ちがうお洒落をしている人とは仲間ではないということ。

ウ

肩の力が抜けरるようなどかな声

組紐をはやらせることで自分も新しい戦争を作ったのかもしれないという不安をおじさんが受け止めてくれ、なぐさめてくれると期待していたのに、「そうかもしないね」と肯定されてしまい、現実をつきつけられたように思つたから。

ア

同じ見えないいろいろなことを人に伝え、仲間だという絆を深める力がある。

●自分のしたことを認めてくれた人がいると知つたこと。

●誰かと言葉でつながり、言葉で仲間になつたと感じたこと。

問十五 ア 基準 イ 染〔め〕 ウ つ〔げ〕 エ 専門家 オ 縦

二

① 引・ウ ② 承・ア ③ 色・エ

二

解説

二

問八

おじさんは「(お洒落は)自分が人と同じだということ、もしくはちがうということ(を見せたかった)」「同じどちらは、仲間と仲間じゃないんだね」と言っています。自分が、同じ仲間だ、もしくは、仲間じゃないということを伝えるためにお洒落があつたと言つています。

問十二

「私、ルールを変えただけで、結局、新しい戦争を作っちゃつただけなのかもしれない」という不安を話した詠子は、「おじさんがそれを全部拾い集めて、きれいにまとめてくれることを心のどこかで期待していました」が、「そうかもしれないね」と言われてしまいます。あまえを許されず、現実を直視させられたと考えることができます。

問十三

「お洒落は、仲間っていう目に見えない絆を、人に伝えるための道具だった。言葉、そこから進化して、さらにいろいろなことを人に伝えるために作られたんだ」「人間は、お洒落、言葉、芸術の順番で、仲間との絆を深める方法を獲得していった」といつたおじさんの言葉から考えて答えましょう。